

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(本郷小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
本郷小	上回った	上回った	上回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	本郷小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.5	94.3	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	91.3	83.9	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.8	91.9	91.0
学習習慣	分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	93.5	84.8	81.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	71	56.2	54
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	48.5	49.0	47.1
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	42	31.9	31.1
教科への関心	国語の勉強は好きだ	71	59.3	58.3
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	92.1	90.4
	算数・数学の勉強は好きだ	77.4	58.7	57.9
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	96.8	93.0	91.6
	理科の勉強は好きだ	93.6	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	81.7	79.9
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	93.6	84.7	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	80.7	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	90.3	82.8	77.8
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができた	93.6	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	96.8	88.5	86.9
	将来の夢や目標をもっている	96.7	84.7	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	96.8	96.4
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	96.8	83.5	81.3

【質問紙分析】

- ・学習習慣は、県や全国と比較すると高い。
- ・教科への関心は各教科共に高い。
- ・主体的・対話的な学びについても、高い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと考えている児童が100%であり、未来を担う児童が育っていると考えられる。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかを見る問題
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題
- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができるかを見る問題
- 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかどうかを見る問題

【算数・数学】

- 数直線上で、1のめもりに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができるかどうかを見る問題
- 台形の意味や性質について理解しているかどうかを見る問題
- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかを見る問題
- 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかを見る問題

【理科】

- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかを見る問題
- 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかを見る問題
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果を予想し、その理由とともに選択肢から選ぶ問題
- 乾電池の繋ぎ方について、直列つなぎに関する知識が身についているかどうかを見る問題

課題への取組・改善策

- ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を意識的に授業の中で活用する。物事を関係図で説明する場面を採り入れる。
- ・様々な文章や表現に触れるための読書活動を継続して行う。

【算数・数学】

- ・授業の中で、二つの数量の関係に関わる数学的活動を取り入れる場面を増やす。
- ・既習事項の確認を単元が終わってからも意図的に行い、様々な問題に取り組めるようにする。

【理科】

- ・授業の中で、既習事項や生活経験をもとに根拠のある予想や仮説を発想する力を養う場面を増やす。また、科学的な根拠に基づき判断していく態度を育てる。

【その他】

- ・各教科を通して、授業の中で個別最適な学びと協働的な学びを実現できる授業ができるよう校内研修を充実させる。